

ベトナム溶接研究会第四回研究会(ベトナム・ハノイ)

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2020年2月11日(火)、昨年10月のベトナム溶接研究会ホーチミンセミナーに続き、第四回目の研究会をJETROハノイ事務所にて開催しました。今回はベトナム溶接研究会の会員企業のみを参加対象とした研究会でした。

ベトナム溶接研究会では、3か月に一度の頻度でこのような研究会や企業見学、セミナーなど、メンバーが集まることの出来る機会を作る計画で活動しています。

今回は初の試みとして、二部構成とし、第一部では、ベトナム人経営の機械加工(バイク部品等)工場見学を行いました。企業はTechnokom社で、ハノイの隣、フンイェン省に位置します。参加希望者約15名と共に企業訪問を行いました。最初に企業説明を受け、その後工場見学を実施しました。工場は整然とし、管理の行き届いた素晴らしい環境で、品質管理なども厳しく行われていることが伺え、非常に有意義な見学となりました。

第二部はJETROハノイオフィスにてセミナー

を実施し、1つ目の講演としてタイコウベウエルディング若山祐二ホーチミン所長より「これじゃダメだよ、溶接施工」と題してベトナムの溶接現場における生の課題や必要な対策を、数多くの写真を交えてご提示いただきました。2つ目の講演は、当研究所門井浩太准教授より「溶接凝固割れの支配因子と割れ発生防止」について、学術的な観点より研究紹介を行っていただきました。

今回は新型コロナの影響により、通常開催しているセミナー後の懇親会を中止とし、また、直前には複数の参加予定者のご参加がキャンセルになるなど影響がありましたが、このような状況下でも沢山の方にご参加頂きましたことに改めて御礼申し上げます。ご参加の皆様からは、また企業見学などを含めた研究会のリクエストも頂戴し、今後の参考にさせていただきます。

この場を借りて、日ごろより同活動への深いご理解を頂き、ご支援下さる民間企業ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



第一部企業訪問の様子



第二部講演会の様子